



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 マクセル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6810 URL <https://www.maxell.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 啓次
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション本部長 (氏名) 平 健介 (TEL) 03-5715-7061
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	30,270	△3.6	1,984	△15.1	2,016	△33.4	1,593	△27.8
2025年3月期第1四半期	31,385	△2.6	2,336	15.4	3,026	△3.6	2,207	△5.9

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,369百万円(△72.0%) 2025年3月期第1四半期 4,888百万円(8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	36.94	—
2025年3月期第1四半期	48.34	—

(注) 「業績連動型株式報酬制度」を導入しており、信託が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	160,525	94,395	57.1
2025年3月期	164,514	94,171	55.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 91,664百万円 2025年3月期 91,356百万円

(注) 「業績連動型株式報酬制度」を導入しており、信託が保有する当社株式を自己株式として計上しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,500	5.2	10,000	7.3	7,000	71.1	162.32

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 「業績連動型株式報酬制度」を導入しており、信託が保有する当社株式を「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	46,956,200株	2025年3月期	46,956,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,830,606株	2025年3月期	3,830,606株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	43,125,594株	2025年3月期1Q	45,653,219株

(注) 1. 期末自己株式数には、「業績連動型株式報酬制度」により信託が保有する当社株式 (前連結会計年度15,700株、当第1四半期累計期間15,700株) を加算しております。

2. 期中平均株式数(四半期累計)は、自己名義所有株式分を控除する他、「業績連動型株式報酬制度」により信託が保有する当社株式(前第1四半期累計期間15,700株、当第1四半期累計期間15,700株)を控除して算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の作成日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知置きください。上記予想の前提条件、その他関連する事項については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は2025年7月31日に証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催します。当日使用する決算説明会資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
< 補足資料 >	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるグローバル経済は、米国の関税政策の影響が懸念されるなど、不透明な状況が続きました。当社の事業概況としては、半導体関連製品の回復遅延の影響や健康・理美容製品における米国の関税政策の影響もありましたが、車載用や医療機器用などを中心に一次電池の販売が順調に推移しました。

このような状況のもと当第1四半期連結累計期間の売上高は、一次電池や産業用部材の増収があったものの、二次電池や半導体関連製品、健康・理美容製品の減収、円高の影響により、前年同期比3.6% (1,115百万円) 減 (以下の比較はこれに同じ) の30,270百万円となりました。利益面では、一次電池や産業用部材が増益となったものの、二次電池や健康・理美容製品の減益、円高の影響により、営業利益は、15.1% (352百万円) 減の1,984百万円、経常利益は、為替差損益の影響などにより、33.4% (1,010百万円) 減の2,016百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、27.8% (614百万円) 減の1,593百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の対米ドルの平均円レートは145円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント区分を変更しており、比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(エネルギー)

二次電池は角形リチウムイオン電池の生産終了により販売減となったものの、車載用や医療機器用、インフラ用途などの販売が好調な一次電池の増収により、エネルギー全体の売上高は、2.3% (236百万円) 増の10,349百万円となりました。営業利益は、角形リチウムイオン電池の減収や全固体電池の開発費増加及び円高の影響があったものの、好調な一次電池の増益により、37.8% (245百万円) 増の894百万円となりました。

(機能性部材)

粘着テープや工業用ゴム製品、塗布型セパレータなどの産業用部材が増収となったことにより、機能性部材全体の売上高は、4.5% (339百万円) 増の7,834百万円となりました。営業利益は、産業用部材の増益により、105.4% (157百万円) 増の306百万円となりました。

(光学・システム)

車載光学部品や半導体関連製品の減収、ライセンス収入の減少により、光学・システム全体の売上高は、13.8% (1,251百万円) 減の7,839百万円となりました。営業利益は、車載光学部品や半導体関連製品の減益、ライセンス収入の減少により、53.1% (636百万円) 減の562百万円となりました。

(価値共創事業)

海外向けを中心に電設工具は増収となるも、米国の関税政策の影響を受け出荷数量が一時的に減少となった健康・理美容製品が減収となり、価値共創事業全体の売上高は、9.4% (439百万円) 減の4,248百万円となりました。営業利益は、健康・理美容製品の減益により、34.7% (118百万円) 減の222百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末比2.4%減(以下の比較はこれに同じ)の160,525百万円となりました。このうち流動資産は、主に現金及び預金並びに受取手形及び売掛金の減少により、4.2%減の80,616百万円となり、総資産に占める割合は前連結会計年度の51.2%から50.2%となりました。一方、固定資産は、0.5%減の79,909百万円で、総資産に占める割合は前連結会計年度の48.8%から49.8%となりました。

(負債)

負債は、6.0%減の66,130百万円となりました。このうち流動負債は、主に流動負債その他の減少により8.0%減の40,829百万円となりました。これによって流動比率は2.0倍に、また流動資産との差額である手持ち資金は39,787百万円となりました。一方、固定負債は、2.5%減の25,301百万円となりました。

(純資産)

純資産は、0.2%増の94,395百万円となりました。主に、配当金の支払い1,079百万円を行ったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,593百万円計上したことによるものです。また、自己資本比率は55.5%から57.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期における事業環境は、足元では米国の関税政策による大きな影響は出ていないものの、今後のグローバル経済や顧客動向に注視が必要な状況です。また、半導体関連製品の本格的な回復は下期以降になると見込んでいます。

このような状況のもと、当社グループは、追加関税については販売価格に反映していくことを基本方針としつつ、半導体市況回復のタイミングを逃さず確実に取り込んでいくことで2025年4月25日に公表した2026年3月期の通期連結業績予想を達成するとともに、中期経営計画MEX26の目標達成に向けて、ポートフォリオ改革の加速による収益性および資本効率の向上を継続し、利益成長を実現していきます。

セグメント別の通期業績予想につきましては、4ページの補足資料をご参照ください。

＜補足資料＞

(業績概要)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期 連結累計期間	2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)	2026年3月期 見通し	前年比 (%)
売上高	31,385	30,270	96.4	136,500	105.2
営業利益	2,336	1,984	84.9	10,000	107.3
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,207	1,593	72.2	7,000	171.1

(セグメント別売上高・営業利益)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期 連結累計期間	2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)	2026年3月期 見通し	前年比 (%)
売上高	31,385	30,270 (100.0)	96.4	136,500 (100.0)	105.2
エネルギー	10,113	10,349 (34.2)	102.3	40,300 (29.5)	94.9
機能性部材料	7,495	7,834 (25.9)	104.5	34,300 (25.1)	107.9
光学・システム	9,090	7,839 (25.9)	86.2	42,300 (31.0)	117.7
価値共創事業	4,687	4,248 (14.0)	90.6	19,600 (14.4)	99.8
営業損益	2,336	1,984 (100.0)	84.9	10,000 (100.0)	107.3
エネルギー	649	894 (45.1)	137.8	1,800 (18.0)	75.4
機能性部材料	149	306 (15.4)	205.4	1,900 (19.0)	163.0
光学・システム	1,198	562 (28.3)	46.9	5,000 (50.0)	113.1
価値共創事業	340	222 (11.2)	65.3	1,300 (13.0)	96.7

(カッコ内は構成比、単位：%)

(地域別売上高)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期 連結累計期間	2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)
海外売上高	16,275	14,956 (49.4)	91.9
米国	4,080	3,967 (13.1)	97.2
欧州	3,900	2,857 (9.4)	73.3
アジア他	8,295	8,132 (26.9)	98.0
国内売上高	15,110	15,314 (50.6)	101.4
売上高(合計)	31,385	30,270 (100.0)	96.4

(設備投資・減価償却費・研究開発費)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期 連結累計期間	2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)	2026年3月期 見通し	前年比 (%)
設備投資	1,688	725	43.0	8,500	133.5
減価償却費	1,278	1,287	100.7	5,600	104.8
研究開発費	1,296	1,482	114.4	6,300	110.9

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,072	31,113
受取手形及び売掛金	28,446	26,466
棚卸資産	19,190	19,699
その他	3,902	3,778
貸倒引当金	△419	△440
流動資産合計	84,191	80,616
固定資産		
有形固定資産		
土地	28,955	28,944
その他(純額)	26,033	25,851
有形固定資産合計	54,988	54,795
無形固定資産	4,367	4,204
投資その他の資産		
その他	21,343	21,273
貸倒引当金	△375	△363
投資その他の資産合計	20,968	20,910
固定資産合計	80,323	79,909
資産合計	164,514	160,525
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,942	16,568
1年内返済予定の長期借入金	1,563	1,563
未払法人税等	1,402	856
資産除去債務	103	104
その他	24,370	21,738
流動負債合計	44,380	40,829
固定負債		
長期借入金	17,059	16,528
退職給付に係る負債	4,902	4,831
資産除去債務	297	298
その他	3,705	3,644
固定負債合計	25,963	25,301
負債合計	70,343	66,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,203	12,203
資本剰余金	18,534	18,534
利益剰余金	60,357	60,871
自己株式	△6,189	△6,189
株主資本合計	84,905	85,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	515	514
為替換算調整勘定	4,741	4,524
退職給付に係る調整累計額	1,195	1,207
その他の包括利益累計額合計	6,451	6,245
非支配株主持分	2,815	2,731
純資産合計	94,171	94,395
負債純資産合計	164,514	160,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	31,385	30,270
売上原価	23,328	22,555
売上総利益	8,057	7,715
販売費及び一般管理費	5,721	5,731
営業利益	2,336	1,984
営業外収益		
受取利息	169	75
受取配当金	79	139
持分法による投資利益	—	58
為替差益	455	—
その他	72	50
営業外収益合計	775	322
営業外費用		
支払利息	26	43
持分法による投資損失	14	—
為替差損	—	201
その他	45	46
営業外費用合計	85	290
経常利益	3,026	2,016
特別利益		
固定資産売却益	11	7
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	16	7
特別損失		
固定資産除売却損	76	53
投資有価証券売却損	—	5
特別損失合計	76	58
税金等調整前四半期純利益	2,966	1,965
法人税等	769	335
四半期純利益	2,197	1,630
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,207	1,593

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	2,197	1,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	1
為替換算調整勘定	2,603	△274
退職給付に係る調整額	20	12
その他の包括利益合計	2,691	△261
四半期包括利益	4,888	1,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,716	1,387
非支配株主に係る四半期包括利益	172	△18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エネルギー	機能性 部材料	光学・ システム	価値共創事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,113	7,495	9,090	4,687	31,385	—	31,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	151	—	—	—	151	△151	—
計	10,264	7,495	9,090	4,687	31,536	△151	31,385
セグメント利益	649	149	1,198	340	2,336	—	2,336

(注) 報告セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エネルギー	機能性 部材料	光学・ システム	価値共創事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,349	7,834	7,839	4,248	30,270	—	30,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	105	—	—	—	105	△105	—
計	10,454	7,834	7,839	4,248	30,375	△105	30,270
セグメント利益	894	306	562	222	1,984	—	1,984

(注) 報告セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分変更)

当社は、報告セグメントとして、従来「エネルギー」「機能性部材料」「光学・システム」「ライフソリューション」と区分しておりましたが、中期経営計画MEX26の実現と2030年にありたき姿に向け、事業のメリハリ付けを明確化し、当社の強みであるアナログコア技術に立脚した事業に成長投資を集中することで資本効率を向上させ、企業価値の最大化をめざすため、当第1四半期連結会計期間より「エネルギー」「機能性部材料」「光学・システム」「価値共創事業」に区分しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,278百万円	1,287百万円